



岡崎市立六ツ美西部小学校 校長通信

# 校長室の窓から

～校訓 人に優しく 自分に強く～

24号

令和3年3月19日

六ツ美西部小学校長  
山本 則夫

## 卒業生127名の未来に幸あれ

第24回卒業証書授与式は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策を講じて無事実施することができました。保護者の皆様には、お子様の一生に一度の小学校の卒業式に参加人数を制限する等、ご迷惑をおかけしましたが、ご理解・ご協力いただきありがとうございました。教職員一同、心を込めて子供たちを送り出しました。

これからは、本校で学んだことや、培った友情を大切にしながら、中学校へと羽ばたいてほしいと思います。



### 【令和2年度 第24回卒業式 校長式辞】

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。君たちにとって最後の小学校生活の1年間は、コロナとの闘いの日々でした。授業の遅れを取り戻すために休み時間を削り、1日7時間授業を行いました。多くの行事や部活動も中止や縮小を余儀なくされました。しかし、そんな様々な制限がかかる中、先生たちは、何とか君たちの思い出をなくさないために、知恵をしぼり、工夫をしてくれました。その結果、運動会、修学旅行、卒業を祝う会など例年とは、少し形は変わりましたが実施することができました。そんな窮屈で我慢することばかりの1年間でしたが、君たちは不平不満を口にすることもありませんでした。

私は、校長室前の階段から窓越しに6年生の教室を見るのが好きでした。集中して授業に臨んでいる様子、担任の先生がなにか面白いこと言ったのでしょうか、大笑いする様子、私をみつけて手を降ってくれる子、ベランダで踊ってみせてくれる子、本当にかわいくて仕方ない6年生でした。休み時間に野球の話をしてくれた子もいましたね。廊下の窓から、そっと授業の様子をのぞくと、目が合いニコッと微笑んでくれる子もいました。保健室で休んでいる子に声をかけたこともありました。何か悩み事があったのかな、好きな本の話をついでに聞いてみるうちに笑顔が戻ってきましたね。私は、そんな君たちと少しでも距離を縮めたくて、スズムシやザリガニを使った理科の授業をやらせてもらいました。本当に楽しかったです。

さて、心も体も大きく成長した皆さんですが、決して、これまで一人で成長したわけではありません。12年前、君たちのお母さんは、命がけで君たちを産んでくれました。生まれたばかりの君たちを初めて抱きしめたとき、どれだけ嬉しかったでしょう。そして、たくさんの愛情をもらって君たちは成長しました。親にとって子供の成長ほど嬉しいものはありません。でも、たくさんの喜びと同じくらい、君たちの知らないところでたくさんの苦勞もあったはずですよ。そんな家族の姿を思い浮かべてください。君たちのことを誰よりも思って、時には本気で叱ってくれました。でも、そのときは素直に「ごめんなさい」が言えませんでした。今日は、そんな大切な家族の方に素直に「ありがとう」の気持ちを伝える日です。君たちにとって一番大切な人は一番身近にいます。

～中略～

卒業生の皆さん、いよいよ小学校生活のフィナーレが近づいてきました。最後に私の好きな歌を送ります。

さよならは誰に言う さよならは悲しみに 雨の降る日を待って さらば涙と言おう  
ほほとぬらす涙は 誰にも見せない こらえきれぬときには 小雨に流そう  
さみしさも悲しさも いくたびか出会うだろう だけど そんなときでも さらば涙と言おう

令和3年3月19日

岡崎市立六ツ美西部小学校長

山本則夫